

平成27年度福島県学力調査結果から見た

英語科の課題と今後の対策 その2/2

県学力調査結果から（会津）

成果



- ※ 本年度から県の設定した目標値と比較しています。
- ① 今まで課題であった「3文以上の英作文」の正答率が、目標値にかなり近づいた。単元末などに「まとまりのある英文」を書く時間が確保されている成果だと思われる。
 - ② 様々な英文の読み取りは、全ての設問で目標値を上回った。タスクを課した読み取り活動の充実が窺える。

課題



- ※ 下位層が増加した。特に正答率30%の生徒の割合が増加した。
- ① 語形・語法の知識・理解を問う問題の正答率が低い。全ての設問で、目標値を下回っている。
 - ② 単語の並べかえによる英作文、場面に応じて書く英作文の正答率が目標値に比べ低い。場面に応じて書く英作文は無答率が43%と高い。

会津域内で正答率の低かった問題の具体例を確認し、今後の対策を提案します。
今回は、課題②について見てみます。

正答率の低かった問題（会津）

※ 県学力調査の問題は公表できないため、同様の問題を示します。（定着確認シートから）

課題②－1 単語の並べかえによる英作文

例 次の(1)～(3)の対話文が成り立つように、()内の語を正しく並べかえて英文を完成させ、その記号を順番どおりに書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字になっています。

(1) A: I studied English from seven to nine last night.

B: Really? I *looked into your room at eight last night.

But you (ア studying イ were ウ then エ not). (注) *look into～ ～の中を見る
(H27 2年第2回)

課題②－2 場面に応じて書く英作文

例 次の(1), (2)の対話文が成り立つように、それぞれの下線部に英語を一語ずつ補いなさい。

(2) A: I didn't see you this morning. _____ you?

B: I was in the gym. I was playing basketball there.

(H27 2年第1回)

〔出題の傾向及び会津の傾向〕

- ・ 例題の答えになる英文は、それぞれ

単語の並べかえによる英作文

But you were not studying then.

場面に応じて書く英作文

Where were you?



と比較的簡単な英文で、基本的な文法知識があれば解ける問題である。

しかし、正答率が低いのは、その”問われ方”が違うからである。

これらの問いには、文法や語彙の知識だけでなく、対話文を読んで、場面や発話内容を思考し、適切な言語材料を選択し、文を産出しなければならない。

「思考一言語材料を各自で選択ー産出」する力が特に求められている。

「書くこと」の指導事項（イ）語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと

場面に応じて書く英作文については、出題された2問とも無答率が43%と非常に高い。「まとまりのある英文」での無答率はさほど高くないことから、書く意欲の低下というよりは、思考を伴った英作文の経験が少ないことが考えられる。

What are you cooking? How many books do you have? don't have to 等、まとまりとして覚えているもの、または、覚えているものの一部を別の語に置き換えて作文するような問題に対する正答率は低くない。覚える活動の充実ぶりが窺える。

今後の対策

英作文（単文）の指導

課題②

対策1 「思考して書く活動」を位置付ける。

「まとまりのある英文」、自己表現としての書く活動については、工夫して取り組んでいる学校が増え、課題が改善されつつあることが、本年度の県学力調査結果からも分かります。

今後は、本課題解決に向けて、単文の英作文指導時には、ドリル的な書く活動だけでなく、「思考し、自分で言語材料を選択し、産出する書く活動」をぜひ位置付けてください。活動そのものとして取り組ませたり、活動や授業のまとめで、問題として取り組ませたりすることが考えられます。場面や状況から、英文を導き出させるような課題設定がポイントです。

定着確認シートの書く問題は、「思考して書く」課題として作成してあるので、ぜひ参考にしてください。

指導のポイント 書くこと（その6）

Click

も参考にしてください。

対策2 文法事項を正しく定着させるようにする。

単文の英作文では、「まとまりのある英文」を書かせる場合とは違い、より「正確さ」が求められます。平成27年度福島県学力調査から見た英語科の今後の課題と今後の対策その1で示した二つの対策

Click

を実践してください。



各校では、自校の結果を分析し、これらを参考に継続実践できる具体策を講じてください。